



# MDD

2023 明治安田生命 J1 LEAGUE

2023明治安田生命J1リーグ第26節 @ 駅前不動産スタジアム

MATCHDAY PROGRAM  
サガン鳥栖オフィシャルマッチデープログラム

2023 Season | VOL 17

Sagantosu

MF 24  
Yoichi NAGANUMA

09.02 [SAT]

19:00 KICK OFF  
VS サンフレッチェ広島



©1992 SANFRESCCE HIROSHIMA CORPORATION

サガン鳥栖に加入して一年。長沼洋一は確かな進化を示し続けている。本来はサイドのアタッカーながら時にはサイドバック、昨季の最終戦ではセンターバックにも入るなど愛媛FC時代から師事を仰ぐ川井健太監督も長沼には厚い信頼を寄せる。そんな長沼だが、今季は“数字”を出せる選手になっている。「自分のところでチャンスを作るべく多く作る」。これは鳥栖に加入以来、長沼がずっと意識していることだが、今季はチャンスメイクだけでなく、自ら仕留めるといった顔も見せるようになっていく。手塚康平、菊地泰智と左利きの選手がスタメンに定着したことで鳥栖の左サイドはより高い位置で起点を作れるようになった。左サイドからクロスが入るシーンも増えると、自らがゴール前に飛び込んでいく形が多くなっていく。シーズン序盤はミドルレンジからのシュートによる得点が主だったが、「あまり考えずに自然と中に入れるようになってるのが点を取れている」とゴール前に飛び込んでの得点が増えていった。さらに前節のガンバ大阪戦では背後を突く鋭い動き出しからゴールを陥れた。“数字”を残すためのバリエーションを長沼は増やし続けている。キャリアハイを更新し続けていることが背番号24の進化を端的に表している。

長沼には呪文のようにずっと言い続けている言葉がある。「ブレずに続けるだけ」。シーズン序盤、チームが不調のときもチームを、自分を信じて取り組んできたことがその後の成果として結びついた。現在、5試合勝ちなしの状況にも長沼のブレない姿勢はまったく揺らいでいない。「絶対に勝ちます」。この一戦を前に短い言葉に込めた決意の強さは古巣との一戦だからではない。前節、土壇場で勝利を逃すという悔しさを味わった。試合後には失意のどん底に叩き落とされた。負の記憶は勝利という結果でしか晴らすことはできない。鳥栖を勝利に導くために、指揮官を誰よりも理解するブレない男がプレーで、姿勢で鳥栖をけん引する。

木村情報技術

「絶対に勝つ」。  
ブレない信念を示すとき

matchday program presents



## 佐賀市民応援マッチ